



小金井 2013. 11 / 1 No.427 月刊 こうみんかん

編集・発行 小金井市公民館 小金井市中町4-15-14 TEL042-383-1184

起きます！起こせます！
あなたの想いを！
見つけよう！僕・私！
仲間へのメッセージを、
この場所で！！

公民館 高齢者学級 報告

4月に受講者を募集し、春から秋にかけておこなわれる高齢者学級は各館特色溢れ、毎年定員以上の応募のある人気の講座です。

東分館高齢者学級「くりのみ学級」

小金井市は東京都下でも男性は杉並区に次いで2位、女性は第7位か8位という長寿のまちです。緑の多い自然環境と人間関係を大事にする風土が高齢者には適しているのでしょうか。

公民館東分館平成25年度高齢者学級「くりのみ学級」は、応募多数の中、選ばれた48名（男性14名、女性34名、平均年齢73.9歳）4班編成で20回（内、野外研修4回、料理2回）開催されます。

ルールは、野外研修を除き当番班は教室の準備（机・椅子の設営等）と後片付けなどがあるため30分程早めに来館することです。

第1回の5月20日はオリエンテーションの後、民族楽器アンクルン公演で大盛り上がりの幕開けでした。

野外研修1回目は浅草から台場へ～水上バスの旅。浅草寺界限散策し昼食後、松本零士氏がデザインし、名づけ親でもある最新船「ホタルナ」に乗船。宇宙船をイメージしたシルバー・メタリックの流線形の船体で屋上は遊歩できる船外景観が楽しめました。



爽やかな気分を味わった水上バス

7月26日は東京外大青山教授による「激動するシリア」。まさにタイムリーな国際時事を軽快かつテンポの良い口調で、マスコミ報道では触れないことまで詳しく解説していただき、分かり易く好評でした。

夏休み明けの9月6日は東京学芸大学石井教授による「遠野物語を読む」。「この話はすべて遠野の人佐々木鏡石君より聞きたり。」で始まる柳田國男の「遠野物語」を中心に東北大地震を彷彿させるような「津波・地震・洪水」に関する話を明瞭詳細な講話を一心に聞き取っていました。

2回目の野外研修は忍野八海と河口湖をバスで巡りました。透明度の高い池に癒されましたが、残念ながら富士山頂は顔を出してくれませんでした。昼食のほうとう専門店では2～3人分位の鍋が個々に配され完食は6人のみ。六角堂は足場の悪い道をほとんどの人が近くまで往復し怪我もなく安堵。

河口湖ミュージアムの「与勇輝展」では、古い木綿布を用いた表情豊かな柔らかみのある人形は、日本の原風景を思わせるノスタルジックな雰囲気を醸し出しており、皆さん子供時代を思い出しながら安らぎ、ティールームでは男性もソフトクリームを手に歓談。何とも微笑ましい光景でした。

（企画実行委員 嵯峨山康夫）

緑分館高齢者学級「^{ホオ}朴の樹学級」

6月に世界遺産に登録された忍野八海・山中湖へ7月12日（金）にバスで出発しました。

忍野八海に到着し、班毎に記念写真をとった後忍野八海を散策。八つの湧水池の中でとりわけ湧池から眺めた富士山の景観はすばらしい。

現在の忍野八海は、昭和60年に環境庁から全国名水百選に選定され、そのきれいな水は美味しかった。



昼食は「車や」でそばと天ぷら等のボリューム満点の料理を歓談しながら満喫。

食事中にサプライズが起きました。それはメンバーのTさんが参加者38人全員に色紙で折った手作り「つまようじ入れ」に爪楊枝を入れて渡して下さったことです。多数の方が作り方を教わりました。

食事後「山中湖文学の森公園」の中で三島由紀夫文学館と徳富蘇峰館を鑑賞。パンフレットには「こもれば、可憐な草花、澄み切った空気……」と記載があり園内には俳人・歌人の句碑・歌碑が19基点在し、ゆっくりともう一度訪れたい場所です。

天候にも恵まれ、楽しく有意義な一日野外研修・バスの旅でした。
（みどり・朴の樹学級生 T・H）

募集

成人学校 「初めてのアーティフィシャルフラワー クリスマスアレンジ」 本町分館

水を必要とせず、温度や光の制限も少なく、飾る場所を選ばないアーティフィシャルフラワー。初めての方も楽しく制作出来るリース風アレンジでクリスマスを彩りませんか。

とき 12月10日(火) 午前10時～正午

ところ 公民館本町分館

講師 ヘンダーソン コウリキさん (フラワーアレンジメント教室 (Elika design) 主宰)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 20人 (申込順)

参加費 2千円 (材料代)

保育 あり (2歳児以上未就学児)

申込 11月5日から11月20日まで、電話または直接公民館本町分館 (☎042-383-1170)へ。



募集

成人学校 「オシ流おやし塾」

東分館

イクメン・共働き・主夫といった言葉が当たり前になり、男性の家庭や地域での役割も変化してきています。

仕事中心の生活スタイルを考え直し、余暇の過ごし方、自分流の生き方を探しましょう。

この講座で色々体験し、自分の生き方に味付けしてみませんか。



昨年行われたバーベキューの様子

	日時	内容	講師
1	12月7日	本格バーベキュー体験	高木秀夫さん (自然人村村長)
2	12月14日	日の出山登山	
3	12月21日	俺に任せろXmas料理	小室満子さん (料理研究家)
4	1月11日	三浦大根の収穫体験	飯嶋 聡さん (野菜ソムリエ)
5	1月25日	ピザ焼き体験と いちご狩り	関根 進さん (ピザ作り名人)

いずれも土曜日 (全5回) 午前8時～午後5時
※各日変更あり

ところ 公民館東町分館他

対象 市内在住・在勤・在学の男性

定員 15人 (申込順)

参加費 7,000円 (材料費) 交通費等別途

申込 11月6日から、電話または直接、公民館東分館 (☎042-384-4422)へ。

募集

成人学校 「自分らしいエンディングを 迎えるために」 本町分館

近年、家族の在り方や社会の変化と共にお見送りの仕方も多様化されてきました。

大切な人が亡くなったときに、自分や家族にどのような影響が現れるのかを知り、自分らしいエンディングを迎えられるよう新しいお見送りの仕方やエンディングノートの書き方について学んでみませんか？

とき 11月7・14日(木) 午前10時～正午

ところ 公民館本町分館

講師 是枝嗣人さん (葬儀会社代表)

対象 市内在住・在勤・在学の方

定員 30人 (申込順)

参加費 無料

申込 10月16日から、電話または直接、公民館本町分館 (☎042-383-1170)へ。



募集

第27回 こがねいパレット 「ビューティフルママの時間割～子育て と仕事をおいしくMix～」関連のお知らせ

11月10日(日) 午後2時～4時

公民館本館 (福祉会館3階)

※50人当日先着順 (午後1時開場)

～実行委員長木原さんにお聞きしました～

小金井市の男女共同参画推進事業の一環である「こがねいパレット」は、今年で27回目を迎えます。

こがねいパレットは、男女がいきいき暮らせる社会をめざして、市民実行委員により企画・実行しています。

子育て中の若い女性を中心に老若男女の市民委員が、約半年間をかけてテーマから企画内容までを練り上げてきました。

今年は、「ビューティフルママの時間割～子育てと仕事をおいしくMix～」をテーマにし、アニメーション作家の若見ありきさんに、子育てと仕事の両立の仕方について実例を含めご紹介していただきます。

また第2部では、来場者の方も楽しんでご参加いただけるように、タオルを使って動物などをつくるワークショップを企画しました。

お子さん、お孫さんと一緒に、どうぞお気軽にお越しください。

(第27回こがねいパレット
実行委員長 木原昭朗)

*詳細は、市報11月1日号を
ご覧ください。

*パレットに関する問い合わせ先：

企画政策課男女共同参画室(☎042-387-9853)



おいでよ、もっと！公民館 企画実行委員ってなあに？ 其の二

【企画実行委員制度】

小金井独自の制度である「企画実行委員制度」は昭和28年より発足され、現在第22期（1期2年制）を迎えています。

選任方法は市報等で公募する「個人立候補」と「公民館利用者団体推薦」された方々で構成されています。

各館6名ずつ選出され、現在30名の企画実行委員が各公民館にて講座のアイデア、また公民館で開催される講座のサポートを行っています。

緑分館企画実行委員 定塚 邦彦

緑分館では年間20程度の講座、イベントなどがあります。これらに若い世代から高齢者まで関心があり楽しく参加いただける様な企画を、我々企画実行委員と公民館職員が額を寄せ合って決めていきます。

なかには高齢者学級のように一般市民の意向を反映して企画するものもあります。

これらの講座やイベントなど小金井市報を通じて参加者を募集するのですが、募集人員を上回る応募があったり受講後に良かった、楽しかった等の感想を聞いた時には企画実行委員になって良かったと思ひ、また逆の場合は落ち込んだりもします。

これからは、いっそう市民の皆様の関心が深く内容の充実した講座を企画するように努めたいと思ひます。

本町分館企画実行委員 松川 真

私は公民館の「高齢者学級」に参加したことで、定年後の生活が大きく変わりました。

今では友人の輪が100人を超えるまでに拡がり、有意義に毎日をエンジョイしています。

“この感動を一人でも多くの人に体感して欲しい”この気持ちを忘れずに企画実行委員の活動に取り組んできましたが、これからは皆さまが気軽に喜んで参加いただけるプログラムを企画していきたいと思ひます。

どうぞ、お気軽に公民館へお立ち寄りください！

募集

子ども体験講座 「自然の素材で作る！ クリスマスリース作り」 本館

とき 12月7日(土) 午前9時30分～11時30分

ところ 公民館本館

講師 武部令さん、大石征夫さん
(いずれも森林インストラクター)

対象 市内在住の小・中学生と保護者
(小学校3年生以上は子どものみの参加可)

定員 30人(申込順)

参加費 500円(材料費)

申込 11月15日午前9時から、電話または直接、
公民館本館(☎042-383-1184)へ。



世界の中の小金井



東京農工大学大学院に通うガーナ出身のリチャード・オマリさんに編集員がインタビューしました。

●どんな経緯で来日しましたか？

ガーナの大学で農学部を卒業後、さらにグローバルな農業経営(agronomy)を学ぶため、海外のいくつかの大学へ奨学金留学生の申請をしました。日本の文部省が受け入れてくれて一年前から東京農工大大学院で勉強しています。

●どんな研究に取り組んでいますか？

稲作に着目しています。日本の土壌はガーナに比べてはるかに有用性があります。ガーナで美味しいお米が生産出来るように土壌と水質の研究・調査に取り組んでいます。

●卒業後はどんな職業に就きますか？

ガーナで農業経営の専門家、指導者になるつもりですが、そう簡単ではありません。現在ガーナ人は世界中の大学で勉強しています。公的農業指導者の競争率は非常に高いです。

●日本で一番印象的なことは何ですか？

大学寮は部屋もトイレも何もかも小さいです。ガーナはもっと大きいです。でも小さくても日本の車は最先端技術が搭載されて高性能・低燃費が実現されているので強い感銘を受けます。

他にも若い人たちが電車の中や通行中でも携帯電話で音楽やゲームを楽しんでいるのは驚きです。

●日本で困惑することはありますか？

私は漢字が苦手で箸の使い方もうまくありません。ご飯のおかずにはワカメや納豆がでた時、友人に正しい食べ方を聞くのですが、教えてもらえません。日本人は優しく親切ですが、直接的な指導や指摘を好まないようです。でも私は間違いを繰り返してしまうからきちんと説明して欲しいです。

●好んで行く場所はどこですか？

日本の寺院が好きでよく鎌倉に行きます。お賽銭箱に1円玉をいれるだけで日本の文化が充分楽しめます。

小金井公園も好きで何度も足を運んでいます。

●これから行きたい場所や経験したいことは何ですか？

やはり奈良や京都を訪れたいです。茶道、歌舞伎、和太鼓、夏祭りなどの日本文化にとっても興味がありますが、私は奨学生なので今は勉強が最優先です。

【ガーナ共和国】

正式名称は英語で、
Republic of Ghana
(リパブリック・オヴ・
ガーナ)。

西アフリカに位置する共和制国家、首都はアクラ。公用語は英語。



◆ 11月の公民館主催事業募集情報 ◆


詳細は市報〇月〇日に募集記事あり。公民館メールアドレス k020499@koganei-shi.jp
ITサポートは、各館にて毎週水曜日、日曜日の午後1時から午後3時。

小金井市公民館	公民館本町分館	公民館貫井南分館	公民館東分館	公民館緑分館
中町 4-15-14 ☎ 042-383-1184 FAX 042-387-1226	本町 2-15-11 ☎ 042-383-1170 FAX 042-387-1227	貫井南町 4-3-23 ☎ 042-383-1168 FAX 042-387-1228	東町 1-39-1 ☎ 042-384-4422 FAX 042-387-1229	緑町 3-3-23 ☎ 042-387-7301 FAX 042-387-7300
☆11/16 市民映画会 「街の灯」 市報11月1日号に詳細 ☆子ども体験講座 「自然の素材で作る！ クリスマスリース作り」 市報11月15日号に詳細	☆成人学校 「初めてのアーティフィ シャルフラワークリスマ スアレンジ」 市報11月1日号に詳細		☆成人学校 「オレ流おやし塾」 市報11月1日号に詳細	

こうみんかん旬菜
～見て・ふれて・食べて～
成人学校 菜園教室 本町分館



心に残った一曲
「オブリピオン」ピアソラ作曲



「いつやるの？ もちろん毎週水曜日です！」
今年の雨には参りました！ まだ忘れもしない9月4日。その日の天気は昼から雨の予報。畑に向かう時は晴れ間もあり、誰も雨の用意をしていません。

講師の先生の説明が終わり、作業を始めた直後、いきなり強い雨に見舞われました。慌てて日よけ小屋にブルーシートを張り、緊急避難(写真右)。雨に打たれる畑をただ茫然と見守るだけ。15分も待ったのでしょうか。少し雨が弱まったのを見計らい、一気に収穫と後片付け、数分後、また強い雨。



その日は、もう作業はできず、更に15分程雨宿りの後、濡れながら解散。戻った頃、雨は止みました。それでも、皆さん菜園教室を続けています。何故でしょう？

それは、皆さん畑が大好きだからです。
苦労して育てた野菜の成長に一喜一憂し、無事に収穫した野菜が食卓に出る喜びを知っているからです。

我が菜園教室の誇りは、

- ① 無農薬
- ② 収穫率平均8割以上
- ③ 皆さんが熱心に参加
- ④ 土曜日各班交代で水撒き
- ⑤ チームワークがよい
- ⑥ 伝統がある
- ⑦ そしてなんと言っても畑を愛していることです。



今年の夏は、ゴーヤがよく採れました。おかげで、夏バテ防止の一助となっており、更に次の教室に向けての糧となっております。

このように、皆さん一生懸命頑張っている教室なので、今後もよろしくお願ひします。



これまで音楽を聴いて涙が出た経験は何回かあるのですが、その中の一曲を紹介したいと思います。

室内の太極拳のお友達のお孫さんのヴァイオリンコンサートがあると誘われて、この3月にオペラシティへ出かけました。

演奏曲の中には、ピアソラ作曲『オブリピオン(忘却)』がありました。ピアソラはアルゼンチンの出身のタンゴの作曲家であり、バンドネオン(アコーディオンの一種)の奏者であることをこのコンサートに行くまで私は知りませんでした。

タンゴと言えば“情熱的”と思われがちですが、この曲はその情熱を押し殺し、まるで透き通った空を漂っているように感じられ、ジワーッと涙が出て来たものでした。

私に涙させた若きヴァイオリニスト・滝千春さんは貫井南町の出身でドイツを拠点に活躍していらっしゃるそうです。

小金井市の誉でもあり、今後のさらなる御活躍を期待しています。
(貫井南町在住 椋 周二)

編集後記

本館の成人大学は、東京学芸大学の全面的な協力のもとに行っている。もちろん、教室も大学。毎年、この講座を楽しみにしている市民の方が多い。中には、母校の卒業生もいる。今年のテーマは、「市民が学ぶ東アジアの現代史」だった。「最近、こういうテーマに興味をもつのはOBのほうなんだよなあ」……ある大先輩の卒業生の言葉である。(わIV)

月刊こうみんかん 市民投稿の話題を募集！

- 「心に残った一冊・名画・音楽」
あなたのおきのお薦めを思い出や感想と共に掲載してみませんか？
- 「地域を歩く」
- 「野川の野草」
- 月刊こうみんかんへの感想もお待ちしております。

問合せ先 公民館本館
(〒184-0012 小金井市中町4-15-14)
☎042-387-1226 ☒k020499@koganei-shi.jp

